

専門科目【在宅看護】

授業科目名	在宅看護学実習Ⅰ <i>Practicum in Home Care Nursing I</i>		担当教員		
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数(単位数)	90(2)
必修選択	専攻領域必修	授業形態	実習	使用教室	
授業の目的	この実習では医療機関の退院調整部門において、在宅医療チームを基盤とした退院支援・調整とケアマネジメントを学び、専門看護師としての役割を担うための能力を養う。なお、本実習では専門看護師が備えるべき6つの能力のうち、多職種との「連携調整」「卓越した実践」「倫理的問題の調整」を中心に学習する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な患者とその家族に対し包括的アセスメントを行い、それに基づく退院支援計画を立案実践し評価する事ができる。(卓越した実践)</li> <li>対象者の意向とニーズに応じ、その人らしい地域での生活継続実現のために、関係者との連携調整を行い、チームアプローチ、ケアマネジメントが実践できる。(連携調整)</li> <li>療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な個別事例から地域が持つ顕在的・潜在的な課題を分析し、地域における社会資源の現状と課題を明確にし、地域包括ケアシステム実現のための提言ができる。</li> <li>退院時等の療養者の生活の場が変化する際に生じる倫理的問題に対し、倫理的判断・臨床的判断を統合して、問題解決方法について考えることができる。(倫理的問題の調整)</li> </ol>				
授業計画	<p><b>【方法】</b> 療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な入院中の療養者と家族を担当し、包括的アセスメントにより生活ニーズを明らかにする。そして、受け持ち事例の在宅移行への推進、在宅療養生活の安定・継続のために、退院支援・調整、ケアマネジメント、ネットワーク構築を実践する。</p> <p>特に専門看護師が備えるべき6つの能力のうち、多職種との「連携調整」「卓越した実践」「倫理的問題の調整」を中心に学習するが、具体的には以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>卓越した実践：療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な事例に対して包括的アセスメントを行い、看護師をはじめとしたケアスタッフの実践内容・方法を多角的に抽出し、実習指導者等からの助言を受けつつ実践を行う。その実践内容から「卓越した実践」について考察する。そして、実習期間中に地域ケア会議等に同席し、個別ケースの検討から地域が持つ顕在的・潜在的な健康課題を検討し、地域包括ケアシステム実現のための方策と看護職としての役割を考える。</li> <li>連携調整：療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な事例に対して、自らイニシアチブをとりつつ、多職種チームの一員として「連携調整」を行い、退院支援・調整の実践、モニタリング、評価までを実施する。また、チームアプローチの実践場面を言語化し分析することによって「連携調整」のグッドプラクティスを検討する。</li> <li>倫理的問題の調整：退院支援・調整が必要な事例の意思決定支援を行う。また、実習期間中に「倫理的問題の調整」が必要な事例があれば、実際の支援場面に同席したり、関係者にインタビューしたりすることで支援内容や方法を学ぶ。</li> </ol> <p><b>【実習場所】</b> 宗像医師会病院：地域医療連携課、宗像医師会在宅医療連携拠点事業室（むーみんネット）</p> <p><b>【実習期間】</b> 実習期間は、1年次後期を予定し、90時間とする。 実習時間は実習施設の就業時間に準ずる。</p>				
学習方法	目標に基づき、実習計画を立案する。 1週毎に学習をリフレクションし、自己課題を明確にしながら実習をすすめる。				
オフィスアワー					
テキスト	特に指定はしない				

参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 篠田道子：多職種連携を高める チームマネジメントの知識とスキル。東京，医学書院，2011.</li> <li>・ 長江弘子編：生活と医療を統合する継続看護マネジメント。東京，医歯薬出版社，2014.</li> <li>・ 宇都宮宏子，三輪恭子編：これからの退院支援・退院調整—ジェネラリストナースがつなぐ外来・病棟・地域。東京，日本看護協会出版会，2011.</li> <li>・ 宇都宮宏子，山田 雅子編：看護がつながる在宅療養移行支援—病院・在宅の患者像別看護ケアのマネジメント。東京，日本看護協会出版会，2014.</li> <li>・ 宇都宮宏子監修：退院支援ガイドブック：「これまでの暮らし」「そしてこれから」をみずえてかかわる。東京，学研メディカル秀潤社，2015.</li> <li>・ 石原ゆきえ，井上健朗：時系列でみる！多職種協働事例で学ぶ退院支援・調整。名古屋，日総研出版，2014.</li> <li>・ 日本医療ソーシャルワーク研究会 編：医療福祉総合ガイドブック 2018年度版。東京，医学書院，2018.</li> </ul>
評価方法	実習目標の達成度（60%）、実習記録およびレポート（40%）